



2020年1月23日

湖西市

MONET Technologies 株式会社

湖西市と MONET、自動運転社会に向けた 次世代モビリティサービスに係る業務連携協定を締結

静岡県湖西市（こさいし、市長：影山 剛士）と MONET Technologies 株式会社（モネ・テクノロジーズ、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮川 潤一、以下「MONET」）は、自動運転社会に向けた次世代モビリティサービスに係る業務連携協定（以下「本協定」）を、2020年1月23日に締結しました。

湖西市と MONET は、今後の社会情勢の変化に対応する新たな公共交通施策に関する検討を進めています。2019年8月には、自動運転車両の普及に向けた次世代運行サービス施策や、市内の移動における回遊性の向上、移動に係る諸問題の解決と利便性の拡充などを検討するにあたり、基本的条件を確認するための覚書を締結しました。今後両者は、このたび締結した本協定に基づいて、次世代モビリティサービスの社会実装に向けた実証実験などに取り組んでいきます。

■連携協定の概要

1. 目的

自動運転社会に向けた次世代モビリティサービスに関する先進的な技術開発や実証実験を通して、誰もが安全で快適に移動できるまちづくりを推進する

2. 連携事項

- (1) 次世代モビリティサービスの実装に向けた実証実験の実施
- (2) 地域企業と市民に貢献する次世代モビリティサービスの検討
- (3) 地域経済活性化に貢献する次世代モビリティサービスの検討
- (4) その他、前項の目的を達成するために必要と認める事項

3. 具体的な取り組み

湖西市は、市内の各企業が運行する企業シャトルバスが公共交通として活用可能な資源となる可能性を探りつつ、MONET と連携して自動運転社会に向けた次世代モビリティサービスを提供することで、市内の企業が抱える交通課題や公共交通課題の解決を図っていきます。そのための取り組みの一つとして、湖西市と MONET は、趣旨に賛同していただいた市内の企業とともに「湖西市企業シャトル BaaS[※]研究会」を1月28日に設立し、次世代モビリティサービスの社会実装に向けた研究などを進める予定です。

「湖西市企業シャトル BaaS 研究会」のスケジュールおよびテーマ（予定）

- ・第1回 自動運転社会に向けた先進事例の取り組みについて（2020年1月）
- ・第2回 乗り合いの安全性確保に向けた仕組みづくりについて（2020年2月）
- ・第3回 社会実装に向けた調査研究手法について（2020年3月）

2020年4月以降は、湖西市内を運行する企業シャトルバスと地域コミュニティバス「コーちゃんバス」を連携し、企業シャトルバスを地域住民にも利用していただけるようなサービスの実装に向けた実証実験や調査などを行う予定です。

※ BaaSとは、BusとMaaS（Mobility as a Service）を掛け合わせた、湖西市による造語

● このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

湖西市役所 産業振興課 公共交通係

Tel : 053-576-4560 E-mail : koutuu@city.kosai.lg.jp